



川口 浩史 議員

雪道はあぶないんだよね

問 1月22日の大雪は、午後10時ごろには、ほぼやんでいた。翌朝の出勤時までに除雪を終わらせることは出来なかったか。

答 まちづくり整備課長 当日は役場敷地内の計測で22cmであった。天気予報を基に未明の2時から除雪を開始してもらうよう業者と打ち合わせをしていた。業者数は13社である。なお終了したのは午後2時半であり出勤時までには終わることは出来ない。



1月22日の大雪による道路の様子

答 1月22日の大雪 出勤時までの除雪が出来なかったか
午前2時から始めたが出勤時までには終わることは出来なかった

再 慣れない雪道で、転倒や交通事故が多発している。業者数をふやして対応すべきでないか。

再 まちづくり整備課長 運転手や重機の確保ができないので無理である。

議員への情報提供について

問 町は議員の個人的な政治活動による求めがあった場合「提供に応じない」という通知を出した。議員は町政を議会にしろ、個人にしろチェックするのが仕事である。この通知は議員の活動を狭めるものになる。撤回すべきだ。

答 参事兼総務課長 今回の通知は情報公開条例に準拠した取り扱いとしたもので議員からの資料請求に対しては従前どおりに応えるものである。

菅小プールのコンクリートひび割れについて

問 菅小プールフェンスのコンクリートのひび割れはヘアークラックだと言った。ヘアークラックがフェンスの支柱ごとに等間隔で発生することはあるのか。

答 技監 支柱が入る穴があくのでコンクリート部分が少ないため、ひび割れが生じたものと考えられる。



吉本 秀二 議員

役場は嵐山町の総合会社

問 3年間で1230万円。転入の動機率が17.7%に対する町の評価は。

答 地域支援課長 数字に対する意見は様々あると思うが、ある程度の効果があったのも確か。他市町村のこともあり、PR施策も必要でその点でも効果はあった。

問 PR的施策は理解するが、PRに対する町の取り組みに疑問。埼玉県でも市町村の取り組みをホームページ等で支援しているが、町の対応は消極的ではないのか。

答 町長 突き詰めていない弱い部分がある。更に検討を加え、嵐山町のPRはすごいと思われよう、こだわりを持って進めていきたい。

答 地域支援課長 分析できるものなのかも分からないが、分析はしていない。

嵐山町の知名度向上方策は

問 知名度の向上について総合戦略の検証では、ツイッターのフォロワー数やホームページのアクセス数の向上をもって評価している。知名度を計る物差しは難しいが、アクセスが町内、県内、県外の割合や嵐山町のどのような分野にアクセスされているのかの分析は。

答 町長 情報発信にどこも苦労している。町おこしディレクター神岡氏をお願いしたのも、地域にとらわれないものはないかとの想い。横断幕の効果も大きいものがあると感じており、今までのやり方をもう一度ゼロベースで考えていく。

転入奨励金事業の評価とPRに対する検証必要
答 嵐山町らしいPRってだわりを持って進めたい



庁舎には懸垂幕で町の一押し施策を町民に示すことも重要
○ 移住・定住・子育ての町嵐山
○ 日本一の教育の町嵐山
○ 本州一のラベンダー苑で町おこし嵐山